

1. 活動のテーマ

<テーマ>

神様からのプレゼント

<テーマの設定理由>

- ・カトリック園で生活の節目ごとに祈る機会がある
- ・月に数回教会訪問や神父様のお話を聞く
- ・創世記のお話を聞き、神様が世界が作られたことを知り想像する姿があった。

2. 活動スケジュール

- ・定期的に神父様のお話を聞き、神様のなさったことや考えに触れる
- ・創世記のお話を聞く
- ・神様がお創りになつと物を表現してお祭りのシンボルタワーを製作する
- ・クリスマス会で聖劇をする
- ・聖劇に出てくる不思議な星の存在や神様が作られたものに興味を示し、プラネタリウムで星や惑星について学ぶ

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

府中郷土の森博物館プラネタリウム予約 バス手配

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・聖劇に出てくる不思議な星の存在や神様が作られたものに興味を示し、プラネタリウムで星や惑星について学ぶ
聖劇を行うことや聖書のお話に触れる中で神様が世界を作られたことに興味を持ち、神様が〇〇を作ったんだよね？」等声が上がっていたので、プラネタリウムを鑑賞し星や惑星について知る機会を持つ

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

イエス様が生まれたことを示す大きく光り輝く星が劇の中に登場したことで、星座や流れ星を見たという話題や夕方の保育中に窓の外に目を向け、月を見つけて形の変化や輝きに興味を示す姿があった。

プラネタリウムが始まると星や惑星の説明に耳を傾け、見えない星の多さに驚いたり、星が光らなければ真っ暗だということに改めて気付いたようだった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子ども達がプラネタリウム内が暗い夜空になった時に怖がったりするか…など少し心配していたが、それ以上に子どもたちの興味の方が強く真剣に星空を見つめ、解説に耳を傾けていた。帰宅後、家で実際に星空を観察しようとした子どもも多くいたようだが、この日は天気が悪かったため見えなかった…と残念がる姿もあった。

子どもたちの探求心に触れることが出来た。